

# 8-1. 有機農業の推進に関する農林水産省の取組

➤ 平成26年4月以降（現行の「有機農業の推進に関する基本方針」の公表後）、農林水産省では以下の取組により有機農業の推進を支援

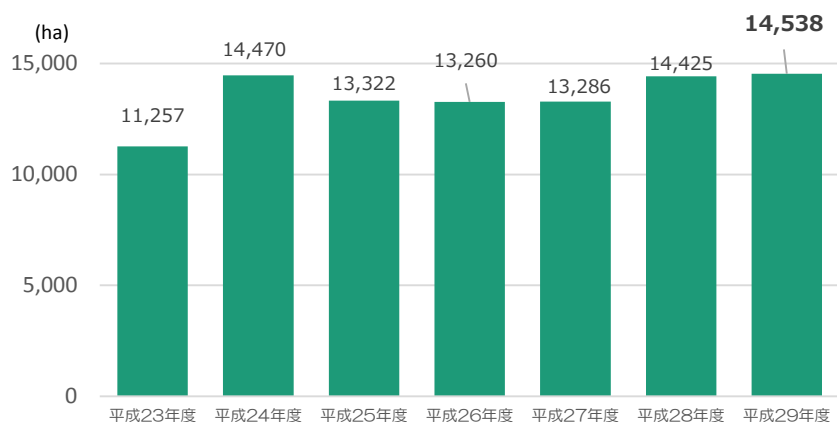
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
<b>直接支払</b>	環境保全型農業直接支払交付金 「有機農業」に取り組む場合、8,000円/10aを支援(そば等雑穀・飼料作物は3,000円/10a)				
<b>各地域の取組支援</b>	有機農業 総合支援事業	有機農業 拡大支援事業	地区推進事業	オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築事業 生産供給拠点構築支援事業	オーガニックビジネス実践拠点づくり事業
	各地の有機農業者等が実施する右の取組を支援				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証圃場の設置、栽培技術講習会開催、技術・経営マニュアル作成、種苗交換会開催</li> <li>・販路開拓、一次加工による試作品開発、普及啓発資料作成</li> <li>・認証制度や経理関係研修会、新規参入希望者への指導・助言 等</li> </ul>				
	22地区	16地区	15地区	16地区	21地区
<b>全国的な取組支援</b>	新規参入・転換支援（研修カリキュラム作成、営農データ収集、先進事例等実態調査、営農計画作成指導、講習会実施等）				
	販路拡大・理解増進支援（マッチングフェア、展示会出展支援、消費者向け・実需者向けセミナー開催）				
	マッチングポータルサイトの開発・実証				
				物流効率化実証	販路拡大等の企画・提案（プロデューサー派遣）
	有機JAS認証取得促進のための調査、講習会			輸出向け産地等での有機JAS認証取得支援	

➤ その他、施設整備支援、就農支援、技術開発等により、有機農業も含め支援

## 8-2. 有機農業の推進に関する農林水産省の取組②（環境保全型農業直接支払の実績）

- 環境保全型農業直接支払交付金における有機農業の支援面積は、平成29年度は14,538haで、近年は横ばいで推移。
- 有機農業を行う田畑のうち75%が生物多様性が非常に高い又は高いと評価（農薬・化学肥料を使用している田畑は34%）。
- 環境保全型農業直接支払交付金における有機農業の支援面積は、北海道が2,120haと最も大きく、次いで福井県、岩手県、熊本県、鹿児島県の順となっている。

### 環境保全型農業直接支払における有機農業の支援面積

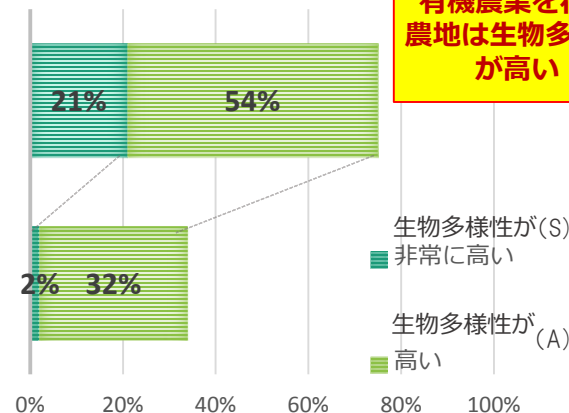


資料：農業環境対策課調べ

### 生物多様性が高い田畑の割合

有機農業を行う田畑  
(調査数=48)

農薬・化学肥料を使用している田畑  
(調査数=107)

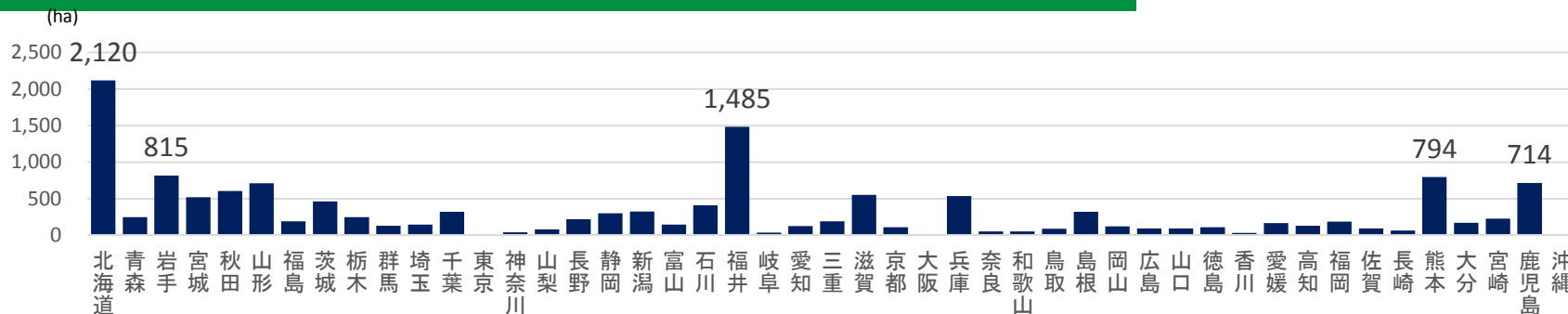


有機農業を行う農地は生物多様性が高い

生物多様性が(S)  
非常に高い  
生物多様性が(A)  
高い

※第9回 環境保全型農業直接支払制度に関する第三者委員会（H30.9.10 農林水産省）の資料より

### 環境保全型農業直接支払における都道府県別有機農業の取組面積（平成29年度）



## 8-3. 有機農業の推進に関する農林水産省の取組③ (各地域の有機農業の取組支援)

- 平成26年以降現在まで、全国45箇所、有機農業者等が行う技術講習会や販路開拓、啓発資料作成等の取組を支援
- 特に近年は、これまでの支援実績のない新たな地区で、事業を開始する例が増加

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
1		○					
2	北海道	○	○		○	○	
3					○	○	
4	東北	岩手県	○	○	○		
5		宮城県	○	○	○	○	
6		秋田県	○	○			
7		山形県	○	○			○
8		○					
9		○					
10	関東	茨城県			○		
11		栃木県	○				
12		埼玉県	○	○	○	○	
13		千葉県	○				
14			○				
15					○	○	
16						○	
17	神奈川県	○	○	○	○	○	
18						○	
19	北陸	富山県		○	○	○	
20	東海	愛知県				○	
21		三重県	○				
22					○		

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
23	滋賀県				○	
24				○		
25	京都府				○	
26						○
27	近畿	○	○	○	○	
28		○	○	○	○	○
29		○				
30					○	
31						○
32	和歌山県			○	○	○
33	中四国	島根県				○
34		広島県		○		
35		徳島県	○		○	○
36		愛媛県	○	○		
37	高知県			○		
38	九州	福岡県	○	○		
39		長崎県	○		○	○
40			○	○	○	
41		熊本県			○	○
42		大分県	○	○		
43	宮崎県	○	○			
44						○
45	鹿児島県		○	○	○	○

事業対象地区数	22	16	15	16	21
過去支援実績がない地区	0	2	4	6	9
複数年の事業実績があり 当該年度が最終年の地区数	7	6	1	2	0

# 8-4. 有機農業の推進に関する農林水産省の取組④ (直近の補助事業の実績)

## 1. オーガニックビジネス実践拠点づくりの実施状況

平成29年度は16地区で実施

平成30年度は21地区で実施中

### 地区推進事業による取組事例

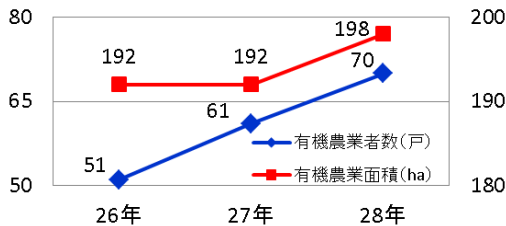
#### とやま有機・エコ農業パワーアップ協議会 (富山県)

有機水稻栽培の最大の課題である除草技術について、生産者と普及指導員、JA営農指導員約90名を対象とした水田用除草機の実演会を開催。

また、消費者に有機農業やエコ農業のことを知ってもらうため、県内スーパーと連携し、有機栽培ほ場での生き物調査や収穫体験などのイベントを年2回開催。さらに首都圏における有機農産物のニーズ把握のため、県アンテナショップでのPR等を実施。



水田用除草機の実演会の開催

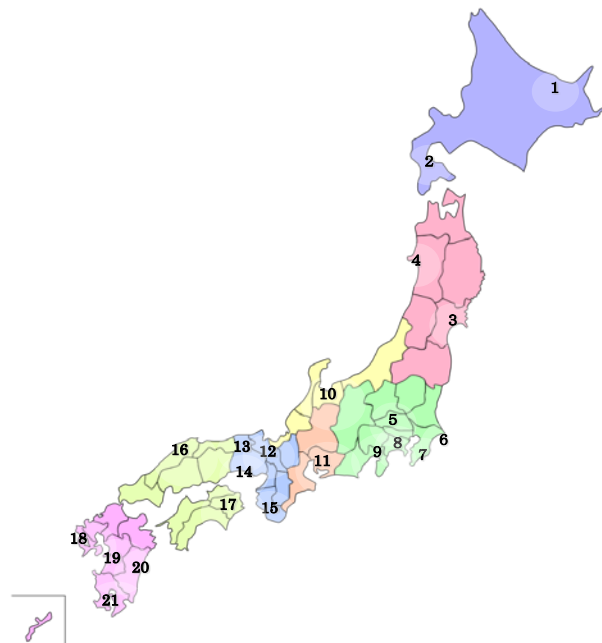


#### コウノトリ共生農業推進協議会 (兵庫県豊岡市)

コウノトリを環境のシンボルとして位置付け、餌となる生き物も同時に育む稲作技術の普及・拡大を推進。またブランド化の観点から、市場ニーズに合わせ、無農薬栽培への転換を推進。



(コウノトリの飛来)



- 1 大空町有機農業推進協議会 (北海道)
- 2 豊浦町オーガニック・エコ農産物推進協議会 (北海道)
- 3 JAみどりの有機農業推進協議会 (宮城県)
- 4 オガニック農業推進協議会 (秋田県)
- 5 小川町有機農業推進協議会 (埼玉県)
- 6 自然と共生する里づくり連絡協議会 (千葉県)
- 7 千葉県有機農業推進協議会 (千葉県)
- 8 小田原有機のリづくり協議会 (神奈川県)
- 9 湘南オーガニック協議会 (神奈川県)
- 10 とやま有機・エコ農業パワーアップ協議会 (富山県)
- 11 知多の恵み (愛知県)
- 12 京都オーガニックアクション (京都府)
- 13 丹波市有機の里づくり推進協議会 (兵庫県)
- 14 神戸オーガニック・エコ農業推進協議会 (兵庫県)
- 15 那賀地方有機農業推進協議会 (和歌山県)
- 16 安来農林振興協議会やすぎ有機農業推進プロジェクト (島根県)
- 17 小松島市生物多様性農業推進協議会 (徳島県)
- 18 南島原市有機農業推進協議会 (長崎県)
- 19 くまもと県有機農業推進協議会 (熊本県)
- 20 宮崎県有機農業連絡協議会 (熊本県)
- 21 かごしま有機農業推進協議会 (鹿児島県)

# 8-5. 有機農業の推進に関する農林水産省の取組⑤ (新規参入・転換支援/販路拡大支援)

## 有機農業への参入促進に関する情報提供や研修会の開催

### ➤ 経営指標

品目別、地域別に、有機農家における労働時間、作業体系、営農データ等を整理

### ➤ 有機農業をはじめようシリーズ

有機農業に必要な経営力、土づくり技術、地域の取組、研修を受け入れのための心得などを伝える冊子集を作成

### ➤ これら内容を周知するセミナー等を開催



## マッチングフェアの開催や消費者向けのセミナーやイベント実施を支援

### ➤ マッチングフェアへの出展支援

大都市圏において、有機農業者の販路確保・拡大を支援するためのマッチングフェアへの有機農業者等の出展を支援

<<平成29年度の事例>>

○ アグリフードEXPO東京への出展

日程：平成29年8月23日～24日

場所：東京ビッグサイト

出展者：東日本の有機農家12者



オーガニックコーナーを設置



オーガニック農産物を来場者に紹介

○ アグリフードEXPO大阪

日程：平成30年2月21日～22日

場所：ATCアジア太平洋トレードセンター

出展者：西日本の有機農家12者

### ➤ 実需者向け講習会、消費者向けイベント等の実施支援

有機農産物の利用を拡大するため、大都市圏において、実需者向けの講習会開催を支援。また、有機農業や有機農産物の魅力を伝えるための取組を支援

<<平成29年度の事例>>



これからのオーガニック市場規模についての講演(実需者向けセミナー)



オーガニックトレイン(能勢電鉄)

# 8-6. 有機農業の推進に関する農林水産省の取組⑥ (例: オンライン・マッチングサイト)

オーガニック・エコ農産物の普及に向け、生産者の販路開拓・買手の仕入先開拓を促進するため、オンライン上で生産者と実需者を結び付けるマッチングサイトを構築



farmO

オーガニックがつながるファーム

## マッチングサイト: farmO (ファーム) で できること

### <さがす & つながる>

地域や業態などを指定して、farmOに登録されている**生産者**や**小売店**、**飲食店**などを**検索**することが可能。

(例)

地域...近畿  
業態...飲食  
キーワード...ピザ



小売店・飲食店さん 5件 (近畿、飲食、ピザ)



飲食  
**ピッツェリア XYZ**  
京都府京都市

有機野菜をふんだんに使ったイタリア料理の...

気になった**生産者**・**買い手**に対し**メッセージを送り**、取引につなげることが可能。



**ピッツェリア XYZ** さんへ  
取引の御提案: 有機栽培のトマトはいかがですか?

※やりとりのイメージ



御連絡ありがとうございます。  
ちょうど有機のトマトを探していました。おいくらでしょうか?

御返信ありがとうございます。xxx円/kgです。  
御一緒にサニーレタスもいかがですか?おいしいですよ!



御返信ありがとうございます。  
サラダに使えそうですね。おいくらですか?

ありがとうございます。  
サニーレタスは〇〇円/kg...



### <ひろがる>

オーガニック・エコ農業に関する様々な情報をシェアできる**掲示板「farmOひろば」**を設置

#### ● ニュース

〇月〇日にイベント  
があります!

#### ● 売りたい/買いたい

芽キャベツが豊作です!  
いかがですか?

#### ● 質問

レタス品種「△△」  
について教えてください!

聖護院ダイコンを探して  
います!



### <実績>

farmO登録者 (平成30年12月時点)

生産者: 360件

実需者: 185件

新規商談件数 (事業開始~平成30年8月)  
486件

## 8-7. 有機農業の推進に関する農林水産省の取組⑦（優良な取組の顕彰）

<<平成29年度の事例>>

未来につながる持続可能な農業推進コンクール（有機農業・環境保全型農業部門）

👑 農林水産大臣賞 👑

### 農事組合法人 さんぶ野菜ネットワーク

面積：90ha

構成員：74名

栽培品目：野菜、落花生等60品目

所在地：千葉県山武市

応募区分：人材育成の部



新規就農者とベテラン農家の意見交換・勉強会



集出荷施設の様子



サンSUNママさんの会の集い

👑 生産局長賞 👑

### 有限会社 くまもと有機の会

所在地：熊本県御船町

応募区分：個別経営の部

面積：75ha

構成員：50人

栽培品目：水稲、野菜等約100品目

▼ 土壌分析室の様子



👑 生産局長賞 👑

### 北里大学獣医学部附属 フィールドサイエンスセンター 八雲牧場

所在地：北海道八雲町

応募区分：団体の部

面積：370ha

構成員：9人

取組品目：牛肉

▼ 牧草による飼育の様子



👑 生産局長賞 👑

### アグリイノベーション大学校

所在地：京都府京都市

応募区分：人材育成の部

面積：0.8ha

構成員：職員17人 生徒249人

栽培品目：野菜等約80品目

▼ 農場実習の様子



# 8-8. 有機農業の推進に関する国の取組⑧ (自治体ネットワークの構築)

- 有機農業を生かして様々な地域振興に取り組む自治体を増やすため、自治体間やこれら自治体と民間企業の連携を促すネットワーク構築に向け、平成30年11月に準備会合を開催。

## 開催概要

日 時：平成30年11月20日  
 場 所：全国都市会館（東京都千代田区）  
 参加者：自治体 23名  
 民間・団体等 42名  
 その他参加者多数



### 1. 基調講演

#### 持続可能な「食と農」における自治体への期待

（東京農業大学「食と農」の博物館 副館長 上岡 教授）

### 2. 有機農業を生かして地域振興に取り組む

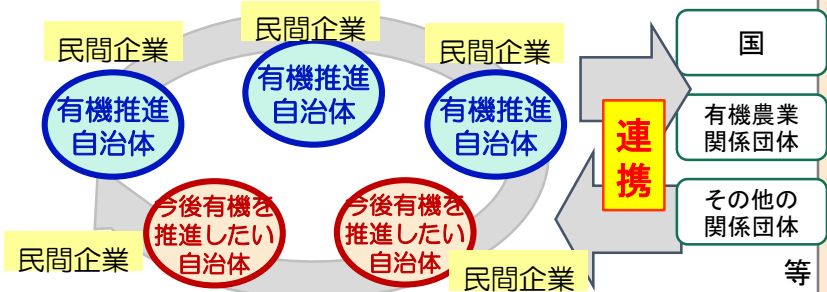
#### 全国6つの自治体からの取組発表

<p>千葉県いすみ市</p>	<p>岐阜県白川町</p>	<p>宮崎県綾町</p>
<p>兵庫県丹波市</p>	<p>熊本県山都町</p>	<p>徳島県小松島市</p>

3. 今後の取組に向けた提案、意見交換
4. ネットワーキング

## 準備会合参加者への提案内容

有機農業自治体ネットワーク（仮称）のイメージ



### ネットワーク構築に向けた今後の取組

1. 今次会合後にアンケートを実施し、有志間でメールアドレスを共有、情報交換の場を構築。
2. この取組や成果を広報し、**他の自治体等にも本ネットワークへの参加を呼びかけたうえで、来年度の上半期に、次回会合を開催。**
3. **数年以内を目途**に、ネットワークの枠組、運営方針等を検討・決定し、**自治体主導の自立的な組織に。**